未来への地図

全15回シリーズ

㈱東京商工リサーチ　鹿児島支店
支店長　東郷　毅一　氏

指示　伸びる会社⑩

社長の指示は末端まで
ファンをつくる社風

■生き残れる会社

会社は組織で成り立っています。その組織がしっかり機能しているかどうかは規律が守られているかどうかによります。つまり、社則に則って正しく仕事が進められているかどうかと言うことになります。組織と言うものは人の集まりです。人にはそれぞれの個性があります。正しい指導を受けていないとはみ出し者も出てきます。これらの人が組織をかき乱すことになります。この反対でしっかりした人の多い組織は規律に則って仕事がうまく進められているものです。

ある会社の話をします。親子三代からなる会社で昔から規律を大切にしてきました。特に指示に関しては厳しいものがあります。社長の指示は中間管理職を通して末端の一般社員までしっかり伝えられています。その指示に基づいて全員が動くので良い商品がつくり上げられます。常に良い流れの中で製作される商品は多くのファンをつくるものです。この会社の商品を中央都市のある業者が誉めていました。また、別のある業者もその商品を大変気に入っていました。多くのファンをつくることができるのはその会社の社風によるものです。商品つくりに社長が頭を痛めて一つの指示を出します。社員はその指示に基づいて一生懸命励んでいます。このようなところに企業の生き残れる要因があるのです。

■挫折する会社

いろんな会社があるようにいろんな経営者もいます。世の中が非常識とするところを常識とする経営者もいます。このような非常識や嘘のある組織では良い社員は育ちません。上に立つ人は社員の鏡でなければなりません。知らないところで社員は上司の姿を見ているものです。そしてまねているのです。非常識の多い上司から出される指示は途中で歪曲されていきます。

ある会社の話をします。二代目社長です。本業は順風満帆、非の打ち所がありません。この社長は欲が深いのです。あの仕事もしたいこの仕事もしたいとなって数年間で三十数社のグループ会社をつくり上げました。多角経営が世間の非常識とされていた頃のことです。会社を一社増やす度に多額の資金を投入します。全社の全社員が社長の指示を的確に受け止めて指示通りに事業が進められていれば問題はなかったのです。指示は末端に達する頃には全く逆になっていました。非常識な指示を常識化しようと歪曲されることもありました。このために本業がおかしくなっていきます。やむを得ずわずか数年の間で三十数社のグループ企業を1社ずつ畳んで行きます。後に残ったのは本業だけです。それも莫大な借金だけを抱えています。このようなところに企業の挫折する原因があるのです。

社会資本整備重点化計画
来年度を初年度に策定
国交省

国土交通省は、今月20日からの通常国会に社会資本整備重点化計画法（仮称）を提出し、15年度を初年度とする計画期間5年間の社会資本整備重点化計画（仮称）を策定する計画だ。計画の策定に当たっては国と地方が連携するとともに、一般からの意見も反映して進める。また、地域特性にも配慮する。

計画の対象事業は、道路、交通安全施設、鉄道、空港、港湾、航路標識、海岸、下水道、都市公園、急傾斜地、海岸で、このほかに密接に関連する事業についても合わせて記述する。

計画では、社会資本整備に関係する重点目標とその達成に向けて効果・効率的に実施すべき事業の概要を記載。重点目標は「暮らし」「安全」「環境」「活力」などの分野ごとに設定する考えで、「暮らし」の分野では「バリアフリー形成」や「水と緑豊かで美しい都市生活空間などの形成」などの目標を例にとると、目標達成のためのアウトカム（成果）指標として、親水水辺延長の割合や都市における緑地の確保量、市街地などの幹線道路の無電柱化率などを提示し、具体的な事業として①親水性のある河川、海岸、港湾などの整備②公園・緑地の整備、緑地の保全、公共空間などの緑化③電線類の地中化④河川、ダムなどの水質浄化対策⑤水道水源域などでの下水道整備―など、さまざまな分野の事業を横断的に組み合わせた形成を目指すとしている。

省エネ住宅の設計・施工講習会
29日に鹿児島市で

県及び㈶建築環境・省エネルギー機構は29日午前10時から鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで「省エネルギー住宅の設計・施工」の講習会を開く。申し込みは県住宅課まで。

同講習は、平成11年省エネルギー基準に改定された断熱構造化の基本的な考え方、省エネルギーの簡単な計算方法、換気性能及び気密性能、断熱材料の施工方法について事例とともに解説し、省エネルギー基準に基づく省エネ住宅の特性を十分に発揮する適切な設計・施工方法を理解できるように説明する。当日は住宅の省エネルギーに関する施策等住宅建設をめぐる最近の動き、住宅金融公庫融資基準、平成11年省エネ基準に基づく住宅の設計・施工などを解説する。

現在、住宅における省エネルギー対策として冷暖房、給湯調理等で使用される各種エネルギーの消費量を減らすことが求められている。国土交通省では、総合的な住宅の11年3月に住宅の省エネルギー基準を改定し、告示している。この基準は断熱仕様の強化だけでなく、高性能化に伴う結露防止対策、換気対策、開口部仕様等、住宅全体の省エネルギー対策を基準化したもの。また、これを受けて住宅金融公庫では省エネルギー次世代型を工事工事共通仕様に追加し、割増融資として普及を図っているほか、基準に適合した新しい工法も開発され、全国的な広がりを見せている。県では、そのような背景の中で実施する講習で、多くの参加を呼びかけている。

問い合わせは、県土木部住宅課計画融資係（☎099・286・3738　FAX286・5661）まで。

環境の日など統一テーマ
31日まで公募
環境省

環境省は、15年度「環境の日」と「環境月間」の統一テーマを1月31日まで公募している。2月に実施する選考で最優秀作1点と優秀作3点を選び、最優秀作は普及啓発ポスターなどに利用する。

同省では、事業者や国民の環境保全についての関心と理解を深める目的で、毎年6月を「環境月間」、6月5日を「環境の日」と定め、さまざまな活動を展開している。

応募は、郵送（同省大臣官房政策評価広報課広報室統一テーマ担当係）、またはFAX03・3502・0308、電子メール（hoko@env.go.jp）で受け付ける。

県林業試験場研究発表会
15日に鹿児島市で

県林業試験場は15日午後1時30分から、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で14年度林業試験場研究発表会を開き、試験研究の成果を報告する。

発表テーマは、建設副産物の有効利用技術「根株・伐採木等の粉砕チップを利用した法面緑化工」、塗装木材の耐候性試験」

日建士連の会員作品展
来月20日まで作品募集

日本建築士会連合会（日建士連、宮本忠長会長）は、会員の技術向上に向けて、「会員作品展」の作品を2月20日まで募集している。

応募作品の要件は平成12年度以降に竣工したものであること。規模、種類は問わず、他紙に発表された作品でも可。応募資格は建築士会会員に限り、応募は1人1点。作品の提出先は所属建築士会。

問い合わせは、日建士連（☎03・3456・2061）まで。

きょうの天気

地方	天気	風	降水確率
薩摩	晴、西部沿岸部では曇一時雨	北西やや強く	20% 20%
大隅	晴	北西やや強く	10% 10%
種子屋久	曇所一時雨	北西やや強く	30% 20%
奄美	曇所一時雨	北西やや強く	20% 20%

降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

鹿児島・種子・屋久地方					奄美地方			
日	曜	天気	降水確率	気温	天気	降水確率	気温
12	日	時々	20%	13° 5°	時々	20%	16° 9°
13	月	後	30%	14° 6°	後	30%	17° 11°
14	火		40%	13° 7°		40%	17° 11°
15	水		40%	11° 4°		40%	16° 10°
16	木	時々	20%	13° 3°	時々	20%	17° 10°

《概況》向こう一週間は、天気は周期的に変わり、期間の中頃は気圧の谷や寒気の影響で曇りの日がある。

ISO9001・14001取得支援
● 認証取得までの責任あるコンサルティング
● 自社の構築・運用に基づくコンサルティング
● 2000年版移行のためのコンサルティング
今別府産業株式会社
ISOコンサルタント事業部（担当：川原清孝）
鹿児島市新栄町15番7号　☎(099)813-2662
ホームページアドレス http://www.imabeppu.co.jp/iso.html